

# 浜松歯科衛生士専門学校 学校だより

旅立ちの春を迎え、陽射しにも暖かさを感じる頃となりました。

学校では、3年生が国家試験を終えて夢への新たな一歩を踏み出します。1年生2年生は、進級にかかわる大切なまとめの時期です。それぞれが自分の力を信じて力強く進んでほしいと願っています。



## 一年を通じて 1年 河野萌香

歯科衛生士の専門学校に入学してからの一年間は、不安と学びの連続でした。入学当初は同じ学校出身の子が一人もおらず、環境に慣れるまでもとても緊張していたのを覚えています。さらに、高校では経験のない実技試験や専門的なテストが多く、勉強が得意ではない私にとっては大きな壁でした。再試験になることもあり、正直つらいと感じる場面もありましたが、その分、自分なりに向き合い努力する大切さを学びました。そんな中でも、クラスの友達はみんな優しく、大きな心で支えてくれました。また、先生方や先輩方もとても親切で分からないことを丁寧に教えてくださり、安心して学校生活を送ることができました。この一年を通して、技術だけでなく人の繋がりの大切さを実感しました。2年生に進級しさらに成長していけるように頑張ります。



## 最後までやり遂げる 2年 川田延万梨

2年生になってからの1年間は、授業や実習を通して、これまでの学生生活の中でも特に学びの多い1年でした。授業で学ぶ内容は専門的で難しく、覚えることも多いため、思うように理解できず悩むこともありました。しかし、分からないままにせず、復習を重ねたり友人に相談したりすることで、少しずつ理解できるようになりました。

また、授業で学んだ内容の中には理解が曖昧な部分もありましたが、臨床実習で実際の治療の流れや現場での対応を見ることで、知識が結びつき、理解を深めることができました。歯科衛生士は歯科医師の補助をする仕事というイメージを持っていましたが、実習では歯科衛生士同士が声をかけ合い、次の準備まで考えて動いている姿が印象に残りました。その姿を見て、私も将来、そのように周りを見て行動できる歯科衛生士になりたいと思いました。

3年生になってからは、国家試験に向けた勉強が本格的に始まり、これまで以上に忙しい日々になると感じます。勉強と実習の両立は簡単なことではありませんが、分からないことや苦手なことから逃げずに、一つ一つ向き合い、最後までやり遂げる強さを身につけたいです。



## 残り日々を大切に 3年 豊田遥菜

4月から1年、私は臨床実習や学校生活を通して成長することができました。2年生の11月から始まった臨床実習も半ばに差し掛かったころには、以前より落ち着いて行動できるようになったと感じる場面が増えました。しかし、現場では予想しないようなことも多くあり、自分の未熟さや知識不足に不安を感じることもありました。特に小児へのTBIでは相手に伝わる説明ができず、自分の力不足を強く実感しました。歯科衛生士の方のご指導で、年齢や理解度に合わせた関わり方を学びました。10月に実習を終え、修学旅行で大阪と京都に行き、楽しい時間を過ごすことができました。現在は気持ちを切り替えて、国家試験合格を目標に個人やグループで勉強に取り組んでいます。クラス全員で合格できるように、国家試験までの残り少ない期間、1日1日を大切に精一杯努力します。



## ご挨拶 井口恵梨香先生

10月より専任教員として就任いたしました井口恵梨香と申します。本校を卒業後、臨床で経験を積んでまいりました。未熟な部分も多いと思いますが、日々成長しながら誠心誠意、学生たちと向き合っていきたいと思っております。歯科衛生士の仕事の魅力を伝えながら、しっかりと育成できるよう全力で取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。



## 編集後記

2026年度の診療報酬改定では診療報酬本体が3.09%増となり、その多くがスタッフの賃上げ等に充てられるそうです。日々頑張っておいてもらっているスタッフの賃上げを診療報酬で賄えるのは大変ありがたいのですが、それ以上に金バラが高騰して大変です。私が開業した2007年の価格は15000円台でしたので今は約10倍です。あるニュースではFMC1本セットすると4000円の赤字が出るという報道されていました。すべての治療でチタンが使えるように法案を通してほしいところです。

衆院解散でいろいろ混乱しそうな雰囲気スタートを切った2026年ですが、良い方向に進むことを願います。（広報部 足立友秀）